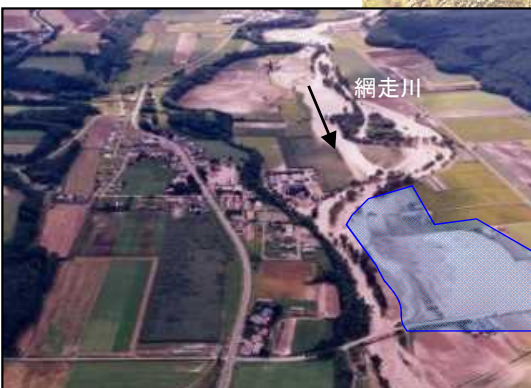
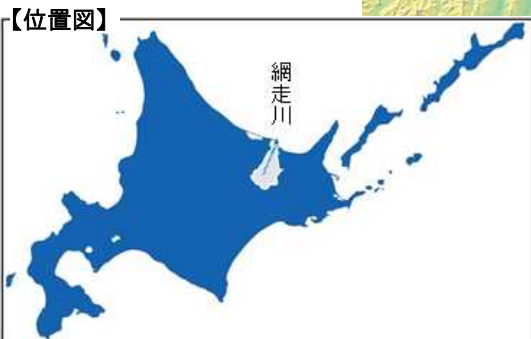


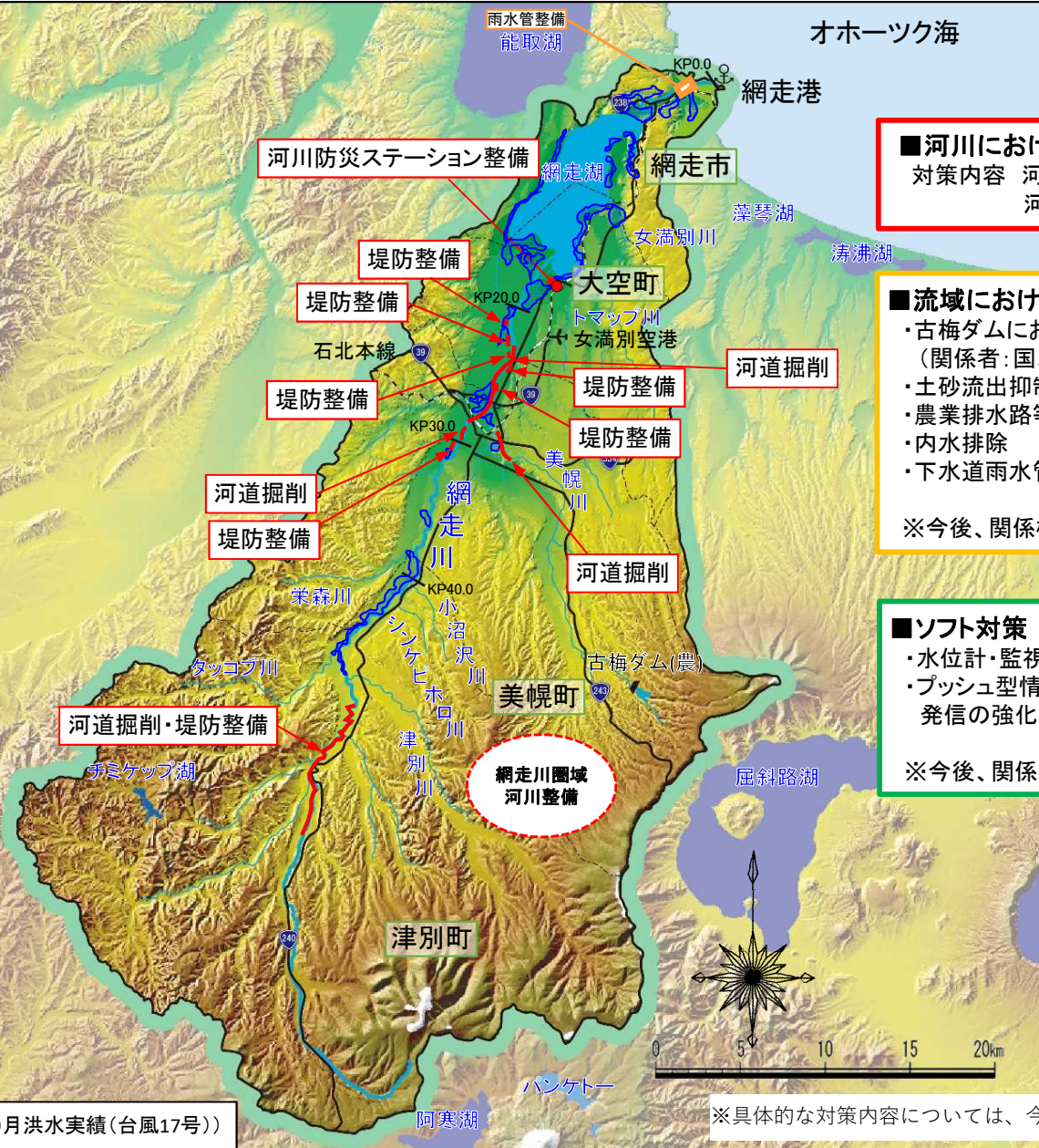
# 網走川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)

～網走地域の魅力ある観光資源と農林水産業を支える人々の暮らしを守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、網走川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、網走川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成4年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



平成4年9月台風17号  
被害家屋322戸、氾濫面積9,585ha



**■ 河川における対策**  
対策内容 河道掘削、堤防整備、  
河川防災ステーション整備 等

**■ 流域における対策**  
・古梅ダムにおける事前放流等の実施、体制構築  
(関係者:国、北海道、市町など)  
・土砂流出抑制  
・農業排水路等整備  
・内水排除  
・下水道雨水管の整備 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討

**■ ソフト対策**  
・水位計・監視カメラの設置  
・プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報  
発信の強化 等  
※今後、関係機関と連携し対策検討

北海道管理河川(一級河川指定区間)

網走川

浸水範囲(平成4年9月洪水実績(台風17号))

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。